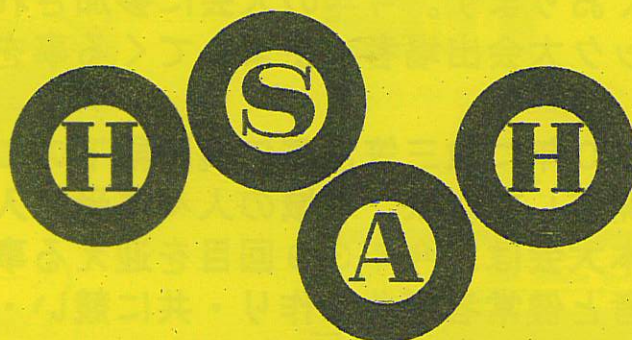


明日佳グループ杯
第39回全道ハンディキャップスキー大会



明日佳グループ



HANDICAPPED SKIERS ASSOCIATION OF HOKKAIDO

と き：2018年3月18日（日）

と ころ：札幌テイネ聖火台オーシャンコース

主 催：北海道身障者スキー連盟

共 催：（一財）小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会

協 力：加森観光株式会社テイネ事業部
札幌イーグルスキー研究会

主 管：札幌身体障害者スキー協会



明日佳グループ杯 第39回全道ハンディキャップスキー大会

開 会 式 (会場：本部テント前)

司会：北海道身障者スキー連盟理事 馬田 尚樹

1. 開会宣言 北海道身障者スキー連盟副会長 片山 仁
2. 主催者挨拶 北海道身障者スキー連盟会長 小林 俊勝
3. 来賓挨拶 (一財)小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会
理事長 小野寺 眞悟 様
加森観光株式会社 ティネ事業部
総支配人 大西 晴彦 様
4. 選手宣誓 札幌身体障害者スキー協会 大木 竜也選手
5. 競技説明・選手会 競技委員長 (北海道身障者スキー連盟理事)
水谷 隆志

閉 会 式 (会場：ゴルフクラブハウス1階)

司会：北海道身障者スキー連盟理事 馬田 尚樹

1. 主催者挨拶 北海道身障者スキー連盟会長 小林 俊勝
2. 講評 技術代表 (札幌イーグルスキー研究会副会長) 渡辺 幸広
3. 成績発表・表彰 競技委員長 (北海道身障者スキー連盟理事) 水谷 隆志
4. シーハイル 札幌身体障害者スキー協会 指導部長 小原 賢三
5. 閉会宣言 北海道身障者スキー連盟副会長 片山 仁

明日佳グループ杯 第39回全道ハンディキャップスキー大会

開 会 式 (会場：本部テント前)

司会：北海道身障者スキー連盟理事 馬田 尚樹

1. 開会宣言 北海道身障者スキー連盟副会長 片山 仁
2. 主催者挨拶 北海道身障者スキー連盟会長 小林 俊勝
3. 来賓挨拶 (一財)小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会
理事長 小野寺 眞悟 様
加森観光株式会社 ティネ事業部
総支配人 大西 晴彦 様
4. 選手宣誓 札幌身体障害者スキー協会 大木 竜也選手
5. 競技説明・選手会 競技委員長 (北海道身障者スキー連盟理事)
水谷 隆志

閉 会 式 (会場：ゴルフクラブハウス1階)

司会：北海道身障者スキー連盟理事 馬田 尚樹

1. 主催者挨拶 北海道身障者スキー連盟会長 小林 俊勝
2. 講評 技術代表 (札幌イーグルスキー研究会副会長) 渡辺 幸広
3. 成績発表・表彰 競技委員長 (北海道身障者スキー連盟理事) 水谷 隆志
4. シーハイル 札幌身体障害者スキー協会 指導部長 小原 賢三
5. 閉会宣言 北海道身障者スキー連盟副会長 片山 仁

ごあいさつ

北海道身障者スキー連盟

会長 小林俊勝

明日佳グループ杯第39回全道ハンディキャップスキー大会が、(一財)小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会をはじめ、関係各位のご理解とご支援により開催出来ますことに心から感謝申し上げます。

本日 道内各地より参加された選手の皆様には、日頃から鍛えられた練習の成果を存分に発揮され、華麗な技術と力強いレースが繰り広げられますと共に、滑る楽しさと完走の喜びを分かち合い選手相互の友好を深めて頂きたいと願っています。

大会における選手諸君の活躍は、多くの障害者に「やれば出来る」という夢と希望を与え、北海道の冬を楽しむことの出来る障害者スキーの普及発展につながっていきますし、大会の運営にご尽力下さる役員・ボランティアの方々の労に報いることだと思えます。

過去、本大会で技術を磨き、世界選手権やパラリンピック大会に出場された選手が多くおります。今年の大会に参加された選手の中から将来のパラリンピック大会出場者が生まれてくる事を期待しております。

本大会は、1980年に故三笠宮寛仁親王殿下のご指導の下に第1回大会を砂川市で開催して以来、地域の人々に受け入れられ支えられながら続けて来た本大会は、今年39回目を迎える事が出来ました。

現在では、障害者と健常者が共に作り・共に競い・共に喜びを分かち合う大会として北海道に定着してきました。

参加されたみなさんは、地元に戻られ、更に多くの仲間を増やし、次の大会に向け技術の鍛錬に努力を続けて下さいますようお願い致します。

終わりに競技役員・ボランティアの皆様のご支援に心から感謝申し上げますと共に選手諸君のご健闘をお祈り致します。